

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金要望事業一覧

(単位：円)

No	事業名	事業の対象	事業内容	総事業費	臨時交付金 充当額	効果検証
1	庁舎等施設空調機整備事業	新しい生活様式への環境整備	小学校特別教室及び執務室における感染機会の削減を図るため、高機能の空調機を設置する。	9,695,670	9,694,000	新型コロナウイルス感染症感染拡大によりマスク着用による生活が余儀なくされ、夏場には新型コロナウイルス感染症と熱中症の発生が危惧されたが、老朽化した空調機を改修したことにより、温度を一定に保ちながら効率的に換気を行うことが可能となり、熱中症の予防、さらには、マスク着用による新型コロナウイルス感染症予防と両面で効果があった。
2	飛沫防止パーティション設置事業	感染症防止対策	執務室等において感染防止を図るため、パーティションを設置する。	1,150,468	1,150,000	執務室や会議室に透明の亚克力板で仕切を設置したことにより飛沫感染等による感染リスクを低減することができた。
3	行政手続等における対面規制事業	感染症防止対策	行政手続などにおける書面規則、押印、対面規制の見直しに関する関係例規を整備する。	2,750,000	2,750,000	押印の見直し等により、各種手続の利便性向上に合わせ、対面機会の低減により、感染予防を図ることができた。
4	まち魅力アップ事業	地域への支援 (経済支援)	町公式ホームページなどのWEBサイト、また広報紙やパンフレットなどの紙媒体に掲載する町特産品の魅力アップを図るために、写真専門家による写真撮影やフードコーディネーターによる解説本・レシピ作成などで特産品の可能性を引出し、ブランド価値を高める。	4,933,500	4,933,000	本事業を実施することにより、特産品の磨き上げすることができ、さらに、パンフレットを作成することにより、特産品のブランディング化が図られ、コロナ後の地域経済活性化に繋げることができた。
5	ごかファンクラブアプリ飲食店応援事業	地域への支援 (経済支援)	ごかファンクラブアプリ登録者に対し、町内飲食店で使用できる食事券を抽選で発行することにより、新型コロナウイルス感染拡大防止により影響を受けている飲食店等を支援する。	811,800	772,000	アプリを活用することで、対面せず当選を通知することができ、さらに、食事券を発行することにより、コロナ禍において落ち込んだ地域経済の支援をすることができた。
6	五霞ふれあい祭り企画事業	新しい生活様式への環境整備	新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を考慮し、これまでの内容と全く違った企画を実施する実行委員会へ運営補助金を交付する。	7,300,000	6,979,000	感染症対策を施しながら、例年と違ったかたちでイベントを開催することができ、町のPRを図ることができた。 さらに、バーチャル世界において五霞町を探索できる「オンライン宝探し」を実施することで、感染症対策を施しながら、効率的に町の魅力をPRすることができた。
7	テレワーク普及推進事業	新しい生活様式への環境整備	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から職員が自宅在宅ワークができるように貸し出し用パソコンを整備する。	2,396,020	2,395,000	オミクロン株の蔓延が拡大する中、職員が陽性者の濃厚接触者となり、自宅待機が余儀なくされた際、自宅待機期間中もテレワークで業務を行うことができ、業務の停止を防ぐことができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金要望事業一覧

(単位：円)

No	事業名	事業の対象	事業内容	総事業費	臨時交付金 充当額	効果検証
8	道の駅ごか振興事業	地域への支援 (経済支援)	株式会社五霞まちづくり交流センター内の「ごかみらいLab」を拠点に新たなまちづくりを進めるため、事務所内のネットワーク環境を再構築し、コロナ対策及び収束後の経済活動の復興を図る。	5,000,000	5,000,000	ネットワーク環境を整備することにより、事務室内の蜜を回避することができ、また、ホームページを改修することにより、道の駅ごかの魅力を発信することで、町の活性化が図られ、さらに、コロナ後の地域経済の復興の促進が図れた。
9	工業クラブ活動支援事業	地域への支援 (経済支援)	小中学校の社会科見学や企業視察等、アフターコロナ後の五霞町を訪れる多くのみなさまのために、川妻工業団地案内看板をリニューアルする。	880,000	880,000	看板をリニューアルすることにより、本町を訪れた方に対し、五霞町の魅力を発信することができ、コロナ後の地域経済の活性化に向けた効果的な情報発信ができた。
10	議会映像配信事業	新しい生活様式 への環境整備	定例会や臨時会を役場庁舎内等において映像配信するにあたり、マイクシステムを改修する。	5,933,400	5,933,000	マイクシステムを改修することにより、役場庁舎におけるオンライン配信が可能となり、傍聴席における密を回避することができた。
11	新型コロナ感染予防対策事業	感染症防止対策	菌やウイルスは、衣類や荷物などに付着して施設内に人が入室する際に持ち込まれるため、教職員や来客者用に抗菌ゲートを玄関入口に設置する。	3,142,370	3,012,000	小中学校へ抗菌ゲートを配備することにより、外から菌やウイルスが持ち込まれることを防止することができた。
12	オンライン学習環境整備事業	教育環境整備	家族等が新型コロナで陽性となり濃厚接触者認定による2週間の自宅待機時や学校でクラスターが発生しての臨時休業等の緊急時に、学びを止めないため家庭用の充電ケーブル及びタブレット端末のキャリアバックを整備する。☑	2,536,107	2,534,000	充電ケーブル等を整備することにより、新型コロナウイルス感染症拡大により、臨時休校となった際にも、学習を止めることなく、学習を継続することができたため。
13	商工会活動支援事業	事業者支援	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い影響を受けている中小企業者に対し、事業継続に向けた活動及び感染症予防対策に取り組むため、事業費経費の一部として給付金を支給する。	7,939,600	7,939,000	中小企業者へ給付金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症対策を図ることができたと共に、コロナ後の事業継続に向けた活動支援を実施することができた。
14	学校保健特別対策事業費補助金	感染症防止対策	コロナ禍の学校において、安全な環境下での児童生徒の学びの充実を図るため、アルコール噴霧器等を整備する。	303,661	150,000	消毒液をはじめとする保健衛生用品を小中学校に配備したことにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減を図ることができた。
15	学校給食運営事業	教育環境整備	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、学校給食の委託先が変更となったことにより、次年度以降も学校給食の提供を止めないため、食器や配送車等必要なものを購入する費用を負担金として支払う。	16,022,344	13,000,000	本事業を実施することにより、学校給食を止めず、また、コロナ禍において影響を受けている保護者への負担を強いることなく、継続的に学校給食を提供することができた。

70,794,940 67,121,000